

飲み始め、みんなでわいわい楽しむ「ワイン会」の魅力に惹かれた。この楽しさを多くの人に知ってもらい、共有したいと考えるようになった」と加奈子さんは振り返る。いかに値頃でおいしいワインを手に入れるかを考え、自分たちでの販売を決めたという。



「Tasting Room（テイスティングルーム）」のホームページにはこんな一文があります。「私たちば、『ワインの素人』です」。酒販免許は今年6月に取得したばかり。社長を務める登加奈子さん（29）と夫の中島将隆さん（28）はこれまで、小売・飲食勤務経験もなかったという。「単なるファンでも、ちょっとしたワイン

販売現場

ファイル 2011

テイスティングルーム

●東京都武藏野市●

る。実際はもう「素人」とは呼べない。しかし、「私たちの原点はワインを飲む楽しさ。アドウ畠の傾斜がどうとか、なめし革のような香りとか、難しいことは重要でない。知識は持っていても、なによりも「楽しい、おいしい」切にし、伝えていく。それが「人視点」での売り方」というの開催やネットショッピングの運営の視点で提案を行っている。

「商品説明」のないワイン会

一般的なワインショップはまず商品を開く。しかし同店の場合は、まず「ワイン会」がある。オープンから五ヶ月で

すでに三回のワイン会を開催した。

写真上にワイン会の様子。開催後は、写真をつけてブログで紹介する／中右に簡単なクイズ／下にHPで情報発信と販売を行う

「素人視点」でワインを販売

友人スタッフも運営に加わり、参加者は第一回が二五人、二回目はリピーターも出て四〇人、三回目は二〇人となった。募集は司店ホームページのほか、SNS

◆西友がPBワイン「アズベリーズ」に新品种 西友は11日、日から、PBワイン「アズベリーズ・クストラスペシャル」シリーズを新アイテムとして、仏産(ボジュー・レー・ヴィラージュ)750mlを全国三六二店舗で発売した。込小売七八〇円。「バランスのれたフルーティなワイン」(同社)



たワインを主体にブレンドして
ち着いた爽やかな飲み口に仕上
た」

くりこ樽熟成を経てブレンド。細かつ華やか、まろやかな味わい。
（同社）▽同・山梨甲州06＝限定四〇本。「タンク内で熟成さ

瓶売価は一〇七〇円
サントネージュワイン。▽限定期
造・山形かみのやまメルロー。一
〇六二限定五、五三二〇本。「
ビ

ノ・キホ」ではこのほか「P.B.
熱価格」の「日本ワイン」二品
を発売した。両商品とも500
円、完結は1,000円。

◆トヨタ、ギボリーテがFBI日本
ン2品目を数量限定発売 ディ

情報クリップ